



## 人と人とのコミュニケーションは朝の挨拶から



地域の方に迎えられて

6月12日(火)から15日(金)にかけて民生委員児童委員の皆様をはじめ、関係者の方々、入善高等学校の皆さんにご協力をいただいて、「入善町さわやかあいさつ運動」を行いました。

登校した子供たちは、地域の皆さんや入善高等学校校の皆さんと手と手をタッチさせながら「おはようございます」と元気のよい挨拶を交わしていました。「おはようございます」の挨拶は人と人が適切に関わるためのコミュニケーションであり、一人一人が気持ちよく集団生活を送るためには欠かすことのできない行為です。「あいさつ運動」の有る無しにかかわらず、子供たちから進んで「おはようございます」と挨拶されると、言われたこちらも「おはようございます」と気持ちよく挨拶を返すことができます。挨拶は何気ない

朝の光景ですが、子供たちの社会性を育む上で大切にしたい事柄の一つです。「いつでも」「誰にでも」「自分から進んで」「相手の顔を見て」「大きな声で」おはようございますの挨拶が言える子供たち、そして、心の窓を開いて、気持ちのよい挨拶を交わし合える子供たちに育ちつつあることをうれしく思っています。

今後とも、保護者の皆様をはじめ地域の皆様にご協力をお願い申し上げますとともに、今回、「あいさつ運動」にご協力いただいた民生委員児童委員の皆様はじめ関係者の皆様、入善高等学校の皆さんに感謝申し上げます。



入善高等学校の皆さんに迎えられて

## プロの演奏を間近で聴けた学校コンサート

6月15日(金)、富山を中心に活躍しておられるバイオリニストの渋谷 優花さん、チェロ奏者の井上 貴信さん、ピアニストの戸島 園恵さんをお迎えし、富山県文化振興財団主催による学校コンサートを本校の体育館で行いました。子供たちは、テレビや教科書等でしか見たことのない本物の楽器を見たり、プロによる生の演奏を間近で聴いたりするなど、貴重な経験をすることができました。

学校コンサートが普通のコンサートと少し違うのは、小学生の実態に合わせて、ピアノやチェロ、バイオリンなど、それぞれの楽器の特徴や演奏曲、作曲者について渋谷さん、井上さん、戸島さんから言葉と演奏で具体的に分かりやすく解説していただいたことです。この日は入善小学校の体育館にはいつもと違うきれいな音とハーモニーが響き渡っていました。子供たちにとっては、美しいものに出会って夢のような時間を過ごせたようでした。



プロの演奏を間近で聴く子供たち

## キーワードは周りの方の肯定的な接し方

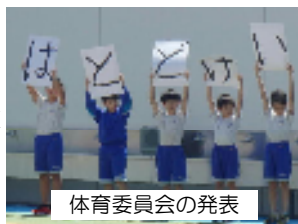


認知症サポーター養成講座

6月22日(金)に、入善町地域包括支援センターより5名の職員の方をお招きし、5年生の子供たちを対象に認知症サポーター養成講座を実施しました。認知症という言葉についてはほとんどの子供たちは知っていましたが、脳の病気であることや周りの人の接し方によっては、改善が期待できる病気であることは初めて知りました。この日は、認知症の方への具体的な接し方について、ロールプレイを取り入れクイズ形式で分かりやすく説明していただきました。子供たちにとっては「肯定的な接し方」をすることで認知症の方の症状が改善することを知るよい機会となりました。

## 待ちに待ったプール開き

7月2日(月)に、子供たちが待ちに待ったプール開きを行いました。プール開きでは、子供たち一人一人が水の事故に遭わないように、安全で楽しい水泳学習ができるようにと、みんなでプールにお願いをしました。水泳は、全身運動と言って体の健康にはとてもよい運動です。しかし、ちょっとした不注意から、大きな事故につながったり、危険な目に遭ったりすることがあります。そういうことのないようにプール使用のきまりをしっかりと守ってほしいと思います。そして、子供たちには、自分の目標を立て、一生懸命プールの練習をして、元気で楽しい夏を過ごしてほしいと願っています。



体育委員会の発表